

出展ゾーン

計
測
設
計

地域に根差した下水道資源の農業利用 地域に寄り添う活動を

肥料原料の価格が高騰する中、下水道資源はリンや窒素等を含む貴重な国産資源として期待が高まっている。国土交通省は、下水汚泥の処理において肥料としての利用を最優先し、最大限の利用を行う方針を示している。

日水コンの取組①多様な地域関係者との連携

地域において下水道資源の農業利用を推進するためには、様々な地域関係者との相互理解や信頼関係の構築が必要不可欠である。地域の関係者と連携し、下水道資源の農業利用に関する取り組みを推進している。

- ◆ 調査・研究結果を関係者に報告する**会議の企画・開催支援**を行うほか、**異分野・異業種の団体や民間企業と連携**するなど、多様な**地域関係者との意見調整**を実施
- ◆ 農業利用者が安心して下水道資源を活用できるよう、下水汚泥由来肥料に含まれる重金属や成分等に関する**正確な情報発信方法**を提案
- ◆ 下水汚泥の肥料利用に関して、最適な**肥料利用形態(コンポスト・回収リン等)**の検討、**肥料化施設の設計、ビニールハウスの設計**など、**施設整備に関する支援**実施



汚泥肥料で栽培した茶の木



肥料化施設



採れたとうもろこし

日水コンの取組②最新技術の調査研究

下水道資源の農業利用の最新技術に関して、自治体・研究機関・大学・高等専門学校等と共同研究を行っている。

- ◆ 下水道応用研究（2022年～2023年）
～山形大学、秋田工業高等専門学校との共同研究～
下水処理水を飼料用米の灌漑用水に利用することで、従来と比べて温室効果ガス（GHG）の排出量が削減される場合がある。そこで、水田からの**GHG排出量定量化モデルを構築し、最適な灌漑条件の検討**を行っている。
- ◆ 下水汚泥資源の活用促進モデル実証（2023年～2026年予定）～農研機構や鹿児島工業高等専門学校の研究コンソーシアム～
供給・製造・流通・生産者と共に農地の環境影響評価、肥効評価、茶など鹿児島県下作目への適正施用技術の開発と実証により、**新下水汚泥肥料の安定供給体制を構築**し、各種PRイベント開催を通じ肥料と作物の普及に寄与している。

日水コンの取組③広報、流通、販売の支援

関係機関と連携し、「じゅんかん育ち」※の**流通・販売に関する支援や広報活動**を行っている。

- ◆ 十勝ビストロ下水道プロジェクト(2020年～)
十勝地方の地域活性化について、地元の農業法人等との意見交換から展開したプロジェクト。毎年のイベントには、産官の下水道関係者をはじめ学識経験者、農業従事者、議員、銀行と幅広く参加している。下水道資源の農業利用に関する勉強会に加え、地域の生産団体に赴き下水道資源とのコラボレーションを模索し、地元の農業法人とともに「じゅんかん育ち」の各種取組を実現させている。
【これまでの成果】イベントを通じ地元の農業法人が下水汚泥肥料を確保(2021年)、とうもろこしの栽培に成功・販売(2022年)、ふるさと納税返礼品として登録(2023年)

※下水道資源(再生水、汚泥、熱、二酸化炭素等)を農作物の栽培等に有効利用し、農業等の生産性向上に貢献する取組を「BISTRO下水道」と称して推進しており、この**下水道発食材**の愛称を「じゅんかん育ち」という。

小 間 番 号

■ 札幌ドーム ■

S1-03

【出展者】株式会社 日水コン

【所在地】〒163-1122 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー

【連絡先】TEL: 03-5323-6300 FAX: 03-5323-6485

担当部署: コンサルティング本部 下水道事業部、コンサルティング本部 環境事業部